

植物多様性センターの「シモバシラはおおにぎわい」

シモバシラは、真冬の「氷の花」で有名なシソ科の多年草です。じつは本当の花が咲くのは9月下旬～10月ごろで、学習園では今が最盛期です。白～薄桃色の小さな花を花序の片面にだけつけます。密生した花序は同じ方向を向くため、虫たちは効率よく吸蜜できます。山地の林縁や登山道などでも、一方向に向いた花はよく目立ち、虫たちへのアピールにも有効のようです。



10月：奥多摩ゾーン落葉広葉樹林エリアで群開の様子



ヨコジマオオヒラタアブ：頻繁に移動しながら吸蜜する



イチモンジセセリ：1か所で口吻だけを動かして吸蜜する



キンケハラナガツチバチ：長い腹部を折り曲げながら吸蜜